

教育研究所だより

平成22年11月11日 NO. 172 守山市教育研究所発行

守山市勝部三丁目9-1 (守山市生涯学習・教育支援センター 愛称:エルセンター3・4階)

TEL 583-4217 FAX 583-4237

E-mail kyoikukenkyu@city.moriyama.lg.jp

所長 森津 陽太郎

H P <http://www2.city.moriyama.lg.jp/moriyama-kyoikukenkyu/>

環境教育を進めるためには

琵琶湖博物館 滋賀県環境学習センター長

布谷 知夫



環境教育の難しいところは、それが知識ではなく、個人の暮らしに対する価値観の問題だからだろうと思います。どういう暮らしが地球にやさしいのかを、知ること、教えることは簡単です。でもそれを皆が実行しておれば環境問題などは起こらなかったでしょう。暮らし方のいろいろな選択肢の中で自分はどれを選ぶのか、というときに、やはり自分一人ぐらいはと考え、便利なほう、楽なほうを選んでしまうのが人間なのでしょう。

環境教育で必要なのは、心底で納得できるような自然体験だと思います。子どものころに小川で魚つかみをし、森の探検をした経験のある人と、そういう体験を全くしたことがないままで大人になった人とは、自然に対する感じ方は異なるでしょう。自然という言葉で頭に浮かぶイメージは、実際の体験が多い人ほど豊かなのです。

そして自然を意識的に観察して暮らした経験があると、自然を見る基準ができてきます。例えば比良山のブナ林、近くのコナラ林、ちょっと大きく育っている近くの公園の緑地、それらを伐採して再開発するというようなことになったとき、そしてその経済効果を説明された時、どれなら仕方がないと思ひ、どれは駄目だと思うでしょう。そういう判断をするための基準は、個人が経験してきた自然の中での体験によって出来上がってくるのです。自然体験の心地よさやそこで見た動植物の姿と自分の現在の暮らしの状態を考えることで、自分が大切だと思う自然の状態が、基準として作られてくるのです。

環境教育では自然体験と自然についての知識の両方が伴っていないと実質的な効果はあがりません。そして現在の社会の現状ではまず子どもたちを野外に連れ出して、自然を体験する機会を作るのが先決だと思います。キャンプに行ったり登山をしたりしようというだけではなく、身近にある公園や小川で、周辺の草花、昆虫を見ながらの散歩から始めるので十分です。そういう経験なしに環境問題についての知識を伝えるだけでは、ただの鵜呑みにしかありません。自分の暮らしとは関係なく、どこかで起こっている事としかとらえることができないのでは、自分の生活の見直しに結び付くのはむづかしいと思うのです。

ながらの散歩から始めるので十分です。そういう経験なしに環境問題についての知識を伝えるだけでは、ただの鵜呑みにしかありません。自分の暮らしとは関係なく、どこかで起こっている事としかとらえることができないのでは、自分の生活の見直しに結び付くのはむづかしいと思うのです。



平成22年度の「教育研究所だより」では、『環境教育について』各分野の方々からご意見を賜っています

研修講座の感想から



教育相談研修講座Ⅴ「子どもの居場所と支援～つながりを求める子どもたち～」(8月26日)

- ・子どもや保護者とのかかわり、職場での関わり等、私がどうすればよいかと悩んでいたことに対する答えをたくさん教えていただいた。またお会いしたいと思える春日井先生の魅力に感動した。
- ・教師としてとても大切な心得を分かりやすく教えていただいた。もっとお話を聞きたいと思った。2学期を目前に元気をいただいた。

授業改善研修講座Ⅱ「子どもの心に響く道徳教育のあり方」(7月29日)

- ・総合的な学習の体験を生かした道徳の授業は目からうろこでした。2学期に自分も終末部分を工夫してみようと思った。
- ・子どもたちの生活経験や他教科のつながりを考えて、道徳の時間の内容を組み立てる方法を教えていただき、よかった。今後、日常の生活、子どもたちの様子、活動をしっかりと把握したうえで、道徳の時間の計画をたてられるように努力したい。

郷土守山に学ぶ研修講座Ⅱ「湖畔の自然に親しむ」(8月24日)

- ・楽しい講座に参加できて感動した。昔、小学校時代に万華鏡を作った思い出もよみがえり、懐かしかった。みさき公園にある草花などを採ったり、身近な自然にも触れたりすることができよかった。またみさき公園にも出かけたいとあらためて思った。
- ・自然の植物や種で万華鏡を作ったのは初めてで、やはり自然の美しさは格別のもので感動した。子どもと楽しく作ることも出来てとても良かった。

教育相談から

～ つながり ～

現代の社会状況を反映して、家庭環境や家族関係に及ぼす諸々の影響はとても大きいです。縁やつながりが機能しない社会の広がり、虐待や孤独死をも生み出す社会背景とも言えます。

世代間や横のつながりが希薄になっている現状で、孤独感・疎外感に陥って子育てに悩まれるケースも多いです。私たちは相談者の方々と共に悩みを分かち合い、少しでも解決に向けて一緒に考えたいと願っています。

童謡詩人、金子みすゞの詩に心ひかれるファンは多いと思います。彼女が愛娘ふさえの言葉を集めて綴った本「南京玉」の冒頭にあるみすゞの言葉をご紹介します。

「なんきんだまは、七色だ。一つ一つが愛らしい、尊いものではないけれど、それを糸につなぐのは、私にはたのしい。

この子の言葉も、そのやうに、一つ一つが愛らしい、人にはなんでもないけれど、それを書いてゆくことは、私には、何ものにもかえがたい、たのしきだ。」

教育相談からお知らせ

学校へ行きづらい、休むことが多くなってきたなど、子どもさんの不登校のことはもちろん、子育て等で悩まれた時は、お気軽にご相談ください。

場所・・・エルセンター3階 教育研究所

出張教育相談もご利用ください

毎月第1木曜日(12月は2日・1月は6日)・・・北公民館

時間等はお問い合わせのうえ、ご予約ください。

TEL 583-4237

月～金曜日の9:00～17:00

お知らせ

守山市教育研究所

守山市教育研究所では、8月にホームページを公開しました。適宜更新しつつ、新しい情報をお届けするつもりです。「研究所だより」の最新版からバックナンバーも閲覧できます。ぜひ一度ご覧ください。

アドレスは下記のとおりです。また、「守山市教育研究所」で検索していただいてもホームページが見つかります。

<http://www2.city.moriyama.lg.jp/moriyama-kyoikukenkyl/>